

学校だより



市川市立平田小学校

～共に学ぶ 共に育つ 共に感動する 共に未来を創る～

いなほ
稲穂

学校教育目標

夢をもち、たくましく生きる
子どもの育成

No.9

R 6年7月18日

校長 蜂須賀 久幸



「思うは招く」、夢を追いかけて…

宇宙科学開発機構の研究者だった主人公が、亡くなった父親の経営する中小企業「佃製作所」の社長となり、社員たちと共に奮闘する姿を描いた小説『下町ロケット』は、TVドラマ化されたので覚えている人も多いはず。このモデルとなったと言われるのが、植松努氏です。北海道のリサイクル用マグネットを作る会社の社長であり、「宇宙開発は夢ではなくて手段に過ぎない」と言って様々なことに挑戦を続けています。会社のHPには、“The sky's the limit 可能性は無限大”の文字が浮かび上がります。

戦争で貯金していたお金がただの紙くずになったことを経験する祖母から、「お金は値打ちが変わってしまう。だからお金があつたら本を買いなさい」と、植松氏は教えられて育ちました。また、アポロ宇宙船の月面着陸を大喜びする祖父をもっと喜ばせたいと、飛行機やロケットの仕事に就くことを子供の頃から夢にしていました。

でも、小学校入学してすぐ、「お前なんかにはできるわけがない」と先生にさんざん殴られたといいます。中学校の先生には「夢みたいなことを言っていないで、テスト勉強をしろ」と言われました。また、「どうせ無理」と言われて育ちました。自信と可能性を奪う言葉を耳にするたびに、「夢って何だろう」「やってもいけないのにできないというのはおかしい」「今できないことを追いかけるのが夢じゃないのか」とずっと思い続けたのです。

そして、「お金が必要な夢やお金がないとできない夢は、誰かからのサービスに過ぎない。それを待っているだけでは、時間もお金もかかる」「自分が出来ることがあればしてあげられるし、仕事になる。人間が生きて行く上で大事なことは、今出来ないことを追いかけることだ」と考えました。さらに、「どうせ無理」をなくせば、いじめ・暴力・戦争・虐待がなくなるとも考え、北海道大学の教授との出会いを機に宇宙開発に挑戦します。たとえ中途半端であっても、何もしないよりよっぽどよいと割り切って行動化したのです。

植松氏は、一人でも多くの子供たちの可能性が奪われない世の中であることを願っています。そのためには、やったことのないことをやりたがる人、諦めない人、工夫する人が増えればよいと考えているのです。諦め方を知らないからこそ輝いていて、ボタンがあれば押してみたいと興味津々な子供時代に「やってみよう」と思う気持ちをどれだけ膨らませられるかは、とても重要なのかも知れません。「失敗は、よりよくするためのデータである」「できない理由を探すのではなく、できる理由を考えてほしい」と植松氏は言います。

母親が中学の時に言ってくれた言葉、『思うは招く』が、今も植松氏の人生を支えているのです。ちょっと目標を見失って、「どうせ…」という感情に支配されそうになっている人も、この言葉で今自分がやらなくてはいけないことが見えてくるかも。

これから始まる夏休み。可能性を信じてチャレンジする子供たちに期待します。



早くも『ひらたっ子読書チャレンジ100』を読破した3年生がいます。他にも意欲的な人もいい、嬉しい限り。

学校生活アンケート（6月）

『自分のことが好き』の「好き」を100として数値バーで表そう

	0 (ない)	50未満	50	50より大	100 (ある)
1年生	5.1%	2.5%	15.2%	16.5%	60.8%
2年生	9.0%	0%	20.9%	19.4%	41.8%
3年生	6.5%	11.3%	11.3%	24.2%	46.8%
4年生	4.2%	7.0%	15.5%	38.0%	35.2%
5年生	4.5%	10.6%	40.9%	15.2%	28.8%
6年生	7.5%	5.0%	33.8%	28.8%	25.0%
支援学級	9.3%	0%	18.6%	9.3%	55.8%
全体	6.4%	7.3%	22.6%	22.4%	41.2%
	13.7%			63.7%	



昨年度末と比較すると…

令和5年度 2月のアンケート結果

	0 (ない)	50未満	50	50より大	100 (ある)
1年生	16.9%	4.6%	15.4%	16.9%	46.2%
2年生	1.7%	6.7%	33.3%	15.0%	43.3%
3年生	20.8%	8.3%	23.6%	29.2%	18.1%
4年生	4.4%	11.8%	39.7%	20.6%	23.5%
5年生	9.0%	11.5%	43.6%	16.7%	19.2%
6年生	1.7%	5.0%	45.0%	16.7%	31.7%
支援級	2.7%	0%	21.6%	5.4%	67.6%
全体	8.9%	7.7%	32.5%	18.2%	32.7%
	16.6%			50.9%	

今年度の『稲穂』第一号で、「自分が好きと胸を張って言える子に」と題して、思いを記しました。今年度も引き続き、「自己有用感」「自己肯定感」「自他のリスペクト」を重点に据えていきます。本人もなかなか気づけない感情・感覚を推し量るのはとても難しいことですが、現時点でよいと思われる手立てを講じながら、頑張っている自分に気づかせ、自信につなげたいと考えています。

左の表に示すように、肯定評価はぐんと伸びました。また、同一学年の比較や進級後の変容を捉えることもできそうです。ただこうした全体傾向を示す数値の中に、個が隠れてしまいがちです。集団の中で個を見失わないために、お子さんは何を考え、どう回答しているのかを知ることが大事だと思います。

【9月の行事予定】

※丸数字は学年を表します

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
	始業式 短縮3校時 下校11:10	4校時日課 下校13:30 給食開始 身体測定③～⑥	平常日課 身体計測①②③④ 委員会活動	ヒラタケピック SC相談日	シャボン玉遊び ①③④ ヒラタケ計算マイスター	市川市 児童生徒科学展 (～8日)
8	9	10	11	12	13	14
	吹奏楽ソロコンサート まなびくらぶ③	修学旅行⑥	定例研13:10下校 学校徴収金引落日	6年9:30登校		PTA資源回収日
15	16	17	18	19	20	21
	敬老の日		クラブ活動	SC相談日	たんぼぼ面談 (～9/27) 4校時日課 下校13:30	
22	23	24	25	26	27	28
秋分の日	振替休業日 平田っ子生活習慣 チェック(～29日)	4校時日課 下校13:30		落語教室④		
29	30					
	ヒラタケピック まなびくらぶ③					